

# 写真集で見る JRP の 50 年、現研の 40 年

報告・発言 英伸三 関次男 尾辻弥寿雄 山本やすこ 聞き手 鈴木純平

8月3日(月) 18:00～ 現研6F 教室

参加費 2,000 円 (電話 03-3355-1461・メール jrp@jrp.gr.jp でお申し込み下さい)

『写真集で見る JRP50 年現研 40 年』という本が、2 年余の準備期間を経て、多くの人の協力を得て、この 6 月出版されました。50 年ないし 40 年間に発行された JRP 会員・現研関係者の写真を 1 冊の本で見ることができます。これほど写真集を出している写真団体は世界でも珍しく、その集成は「今しか出来ないこと」として実行されました。写真集には JRP の結成以前に撮影された写真も含まれており、写真で見る戦後 70 年の趣もあります。

絵や文字で表現・記録してきた人類は、19 世紀に至って写真というもうひとつの方法、同時代を写す鏡、世界をダイレクトに見る窓を手に入れました。タルボットの『自然の鉛筆』という世界初の写真集ができたのは 1846 年。杉村博司さんは、その写真の「紙ネガ」は今でもプリントすることができるといいます。写真はいま、ディスプレイなどで瞬時に、かつ大量に見ることが出来ますが、プリントや写真集という物質的な存在としての写真は、何時でも手にして見ることができ、お望みなら世界の写真集が手に入るし、なにより時代を超えて手から手へ伝わって世に生きていくもうひとつのいのちと言えます。

写真は常に、撮られた時をこの時に見るものです。この本に掲載された写真を見ながら、その時代、その社会、人間を写真はどう捉え今に伝えているか、そしていま私たちは写真で何ができるかを考えたいと思います。まさにいま、無責任で唯我独尊の政治家の暴力が生を破壊しようとしているこの時に。(記・金瀬胖)



川島浩『いのち、この美しきもの』



英伸三『一所懸命の時代』



田村茂『チベット』



木田英之『黒白のメッセージ』



岸川洋子『茅葺東京』



嬉野京子『沖縄 100 万の叫び』



尾辻弥寿雄『鎌倉景』



山口保『時軸』